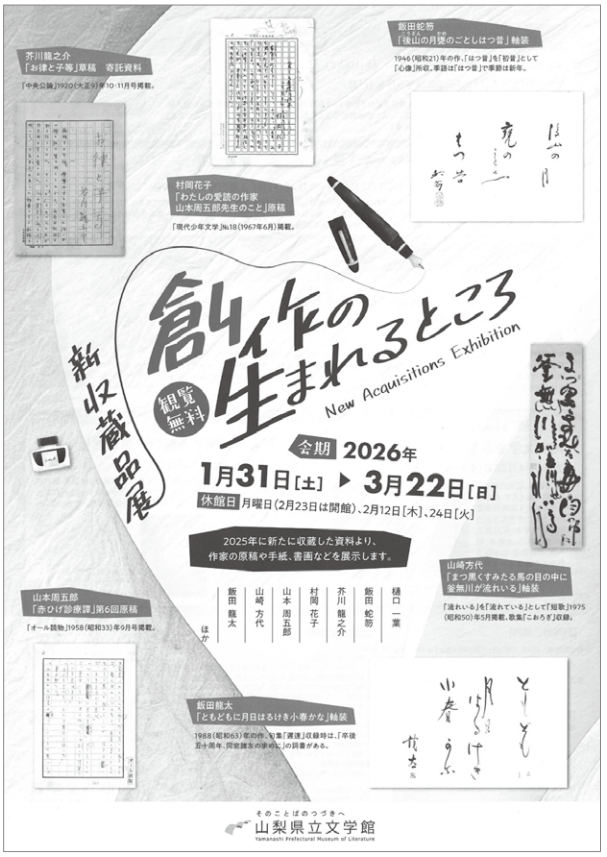
戸澗幸夫 画/「蟬の声」第1・3・6・12・17・19・20回　挿絵原画
堀内洋子 画「野良猫」第1・6・7・21回 挿絵原画
白須寛子 画「最後の仕事」第3回挿絵原画
梶原丈義 画「かたち」第6回挿絵原画
大坪緑 画「変わる」第1回挿絵原画
宮崎祐太 画「見ぬ世のヒトを友とする」第1回挿絵原画
渡辺一仁 画「県庁芸術推進課 須賀健一」第1回挿絵原画
『樋口一葉記念 第三十三回やまなし文学賞受賞作品集』2025（令和7）年9月　やまなし文学賞実行委員会







⑷ 教育普及事業

１．事業の基本的な考え方

展示解説、普及活動等を行う教育普及事業は、調査・収集・整理・保存・展示・研究などの諸活動とともに、文学館活動の中で重要な位置を占める。社会教育・学校教育との連携を図りつつ、文学専門の博物館としての特性を生かし、年間を通しての文学講座や講演会、創作教室、文学的に価値ある映画の上映、朗読公演会など、文学について学び親しむ事業を幅広い世代に向けて行っている。

また、山梨ゆかりの作家や作品の資料を活用した学習プログラムや子ども向け事業の充実を図ることは、郷土への関心を高め、郷土を愛し、郷土に誇りをもてるような心情を育むという点からも重要であると考える。

２．教育普及活動の内容

（１）特設展・企画展関連教育普及事業

企画展「ベストセラー誕生！『南総里見八犬伝』の世界」、特設展「時空を旅する作家　辻邦生展 生誕100年」、特設展「作家の絵ごころ　視覚で楽しむ文学展」、「新収蔵品展　創作の生まれるところ」に関連して、作家・研究者・関係者による講演会や関連講座などを行った。特設展・企画展のテーマを詳しく解説し、展示では扱えなかった視点から考察を加えるとともに、特設展・企画展そのものへの理解を深められるように実施した。外部講師及び職員による講演会などを通して文学を学ぶ機会を提供した。

① 外部講師及び職員による講演会を実施。
② 関連映画鑑賞会を実施。
③ 関連ワークショップを実施。
④ チャレンジクイズを作成。
楽しみながら展示の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供。

（２）年間文学講座

年間文学講座は平成２年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすことを心がけている。令和７年度は、池田尚隆氏（山梨大学名誉教授）による「古典文学講座（全８回)」と前田速夫氏（文芸雑誌「新潮」元編集長）による「近代文学講座（全８回)」、当館学芸員による講座「作家と作品（全４回)」の３講座を実施した。

講座１源氏物語の男たち」、講座２のテーマは「私の出会った作家たち 創作の現場に立ち会う」、講座３では、「辻邦生作品の魅力―『銀杏散りやまず』『西行花伝』を中心に」「戦後80年 甲運村に疎開した井伏鱒二」「特設展『作家の絵ごころ』展示資料の見どころ」「『南総里見八犬伝』展示の見どころ」という内容で講座を行った。

（３）名作映画鑑賞会

文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて考え、作品をより深く理解してもらうための企画である。平成２年度から毎年実施している。令和７年度は一般向け映画会「パリの恋人」、「ビルマの竪琴」、「破戒」の３回、子ども向け映画会「エクレール・お菓子放浪記」を１回実施した。

（４）朗読公演会

作品（詩・小説など）の魅力を朗読公演によって鑑賞する一般向けの企画を１回実施した。これは、開館の年から毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。令和７年度は、特設展「時空を旅する作家　辻邦生展 生誕100年」関連事業として「琵琶と声明による 西行花伝 聲の帖」を開催した。

（５）文学創作教室

俳句をはじめ短歌や詩、エッセイ・小説などの創作を通じて、文化活動を推進する。小・中・高校生をはじめ広く県民を対象に、文学創作講座を実施した。令和７年度は、三枝浩樹氏による短歌教室（計２回)、吉田朝麻氏を講師とする小さな本（ZINE）作り教室を実施した。また、山梨県に甲斐人の一撃事業の一環として、川上健一氏を講師とし15歳～25歳を対象とする小説創作教室（計２回）を実施した。

（６）山梨の文学解説講座（出前講座）

この講座は、学芸課の職員が学校や市町村施設などに出向き、文学者や作品を紹介したり、文学に関する講座を行ったりするものである。令和７年度においても要請を受けた団体に対して可能な限り実施することができた。

（7）教師のための学習会

県内の小・中・高校・特別支援学校の教職員を対象に春の特設展と秋の企画展について、文学館職員による説明と観覧を実施し、国語教育への活用を図ることができた。令和７年度は２回開催した。

（8）児童生徒向け事業について

将来の山梨を担うことになる子どもたちに、山梨ゆかりの文学と文学者について学ぶきっかけを作った。学校教育との連携をより密にして、文学を通して豊かな心を育てることを目的とする。

① 文学教室

年間を通じ、随時開催する。小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、俳句や短歌の作り方や、山梨にゆかりのある作家の紹介などを行った。

② ワークショップ

主に子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じ、文学や文学者に興味を持ってもらう機会とする。令和７年度は、８月に夏の特設展「作家の絵ごころ　視覚で楽しむ文学展」に関連して「絵手紙ワークショップ」、９月は企画展「ベストセラー誕生！『南総里見八犬伝』の世界」に関連して「消しゴムはんこワークショップ」および「講談教室」、また２月には「声に乗せて味わう児童文学～原きよ朗読教室」を開催した。

③ 学習ガイド（ジュニアガイドブックと教育普及用資料集）

県出身及びゆかりの文学者や作品について、小中高生の理解を深めるために、教育普及資料集を作成している。また、常設展示室に展示されている山梨県出身およびゆかりの文学者について、わかりやすく解説したジュニアガイドブックを活用し、子どもたちが文学への興味や関心をもてるようにしている。

④ チャレンジ文学館

常設展を見に来た子どもたちが、ポイントをつかんで楽しく観覧できるように、常設展クイズ「わたしはだあれ」を実施している。また、芸術の森公園内に、俳句や詩、短歌や童謡、小説やエッセイの一節を書いた24本の柱を立て、「文学の柱追跡散歩」クイズを実施している。

⑤ チャレンジクイズ

楽しみながら企画展や特設展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供している。

⑥ （ジュニア）インターンシップ（就業体験）

子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来において自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっている。文学館としても、中・高校のインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組んでいる。令和７年度は高校生（青洲）２名、中学生（城南・上条・勝山）３名を受け入れた。

⑦ 学習資料・アウトリーチセットの貸与

館作成資料の一部を学習のために貸与する。要請により、学校をはじめ、生涯学習事業等に対して貸与を行う。令和７年度は、「芥川龍之介の夏休みセット」を１校、「飯田蛇笏・龍太のちまちま人形セット」を３校、「石川啄木セット」を３校、「ふしぎ駄菓子屋　銭天堂セット」を14校、「宮沢賢治～イーハトーブの世界・嘉内（かない）との友情物語～セット」を11校、「村岡花子と『赤毛のアン』の世界セット」を４校に貸し出した。

（9）やまなし文学賞

平成４年４月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。やまなし文学賞実行委員会が主催、文学館で事務局を担っている。

令和３年度までは一般小説部門と研究・評論部門であったが、令和４年度に要項を改め、一般部門・青少年部門の２部門が設けられた。令和７年度は一般部門645編、青少年部門28編の応募があった。

教育普及事業の実施状況

分類	事　業　名	内　容　　講　師　　等	開催日	会場	参加人数	合計
年間文学講座	講座１ 源氏物語の男たち 講師：池田　尚隆 （山梨大学名誉教授）	①桐壺帝	5月10日(土)	講堂	77人	586人
		②左大臣・右大臣	6月21日(土)		81人	
		③按察大納言・明石の入道	7月12日(土)		81人	
		④頭中将	8月23日(土)		74人	
		⑤朱雀院	9月20日(土)		73人	
		⑥冷泉院	10月11日(土)		65人	
		⑦光源氏その一	11月22日(土)		67人	
		⑧光源氏その二	12月6日(土)		68人	
	講座２ 私の出会った作家たち －創作の現場に立ち会う－ 講師：前田　速夫 （文芸雑誌「新潮」元編集長）	①辻邦生と北杜夫　作家の友情 ―旧制高校生の教養	5月29日(木)	研修室・講堂	79人	425人
		②瀬戸内寂聴と田辺聖子 人気作家の条件―読者を大切にする	6月19日(木)		59人	
		③川端康成と三島由紀夫 往復書簡から―自死に至るまで	7月24日(木)		76人	
		④大岡昇平と武田泰淳 富士山麓の二人―大家の晩年	8月28日(木)		41人	
		⑤島尾敏雄と島尾ミホ 『死の棘日記』をめぐって ―夫婦の壮絶な死闘	9月25日(木)		55人	
		⑥吉田知子と村田喜代子 異世界への扉―地方作家の底力	10月16日(木)		27人	
		⑦車谷長吉と平野啓一郎 作家デビューまで ―無名の新人の担当編集者として並走して	11月6日(木)		39人	
		⑧津島佑子と小川洋子 世界に通じる普遍性 ―国内外で高まる評価	12月18日(木)		49人	
	講座３ 講師：当館学芸員	①辻邦生作品の魅力 ―「銀杏散りやまず」、「西行花伝」を中心に 講師：中野和子	5月18日(日)	研修室	77人	179人
		②戦後80年 甲運村に疎開した井伏鱒二 講師：保坂雅子	6月22日(日)		30人	
		③特設展「作家の絵ごころ」 展示資料の見どころ 講師：伊藤夏穂	7月27日(日)		29人	
		④「南総里見八犬伝」 展示の見どころ 講師：高室有子	9月14日(日)		43人	
特設展・企画展関連事業	「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年」	教師のための学習会	5月15日(木)	特設展	8人	968人
		公演会 「琵琶と声明による　西行花伝　聲の帖」 構成・演出：茂手木潔子 （上越教育大学名誉教授）	6月8日(日)	講堂	416人	
	「作家の絵ごころ　視覚で楽しむ文学展」関連事業	ワークショップ「絵手紙づくり」 講師：垣中絵美子	8月3日(日)	茶室	16人	
	「ベストセラー誕生！ 『南総里見八犬伝』の 世界」展 関連事業	講演会「長編小説家曲亭馬琴」 講師：高橋源一郎 （小説家・文芸評論家）	10月5日(日)	講堂	268人	
		講演会「『南総里見八犬伝』のいろいろな趣向」 講師：服部仁（同朋大学名誉教授）	10月13日(月･祝)		117人	

特設展・企画展関連事業	「ベストセラー誕生！『南総里見八犬伝』の世界」展関連事業	講演会 「江戸時代 甲州の本屋と書籍文化」 講師：鈴木俊幸（中央大学教授）	10月25日（土）	講堂	91人	
		ワークショップ「消しゴムはんこ」 講師：アオヤギルミ	9月21日（日）	研修室	22人	
		教師のための学習会	10月20日（木）	企画展	13人	
		ワークショップ「講談教室」 講師：三龍亭千公 （伝統話芸集団 「南房総三龍亭」代表） 三龍亭夢学（同 副代表）	11月1日（土）	研修室	17人	
名作映画鑑賞会	一般向け	「パリの恋人」	5月24日（土）	講堂	179人	837人
	子ども向け	「エクレール・お菓子放浪記」	8月2日（土）		163人	
	一般向け	「ビルマの竪琴」	9月27日（土）		201人	
	一般向け	「破戒」	2月21日（土）		294人	
文学創作教室	小さな本（ZINE）作り教室	講師：吉田朝麻	7月19日（土）	研修室	29人	123人
	初心者短歌教室	講師：三枝浩樹	6月14日（土）		19人	
			7月5日（土）		17人	
	小説創作教室 未来の小説家たちへ	①講師：川上健一	8月9日（土）		14人	
		②講師：川上健一	10月4日（土）		8人	
	短歌教室	講師：三枝浩樹	12月13日（土）		36人	
ワークショップ	朗読教室	原きよ 朗読教室 ～声に乗せて味わう児童文学～ 講師：原きよ	2月8日（日）	研修室	17人	17人
出前講座	山梨の文学解説講座	山梨文化協力連合会	2回		244人	730人
	小中高文学教室	県内小中高等学校	12回		486人	
文学解説	展示解説 （一般向け）	韮崎大草公民館	3回	常設展 特設展 企画展	71人	1,437人
	展示解説 （小中高大学生向け）	学生への展示解説	27回		1,366人	
チャレンジクイズ	特設展	「辻邦生展」	4月26日～6月22日	特設展	704人	3,295人
		「作家の絵ごころ展」	7月12日～8月24日	特設展	209人	
		「新収蔵品展」	1月31日～3月22日	特設展	123人	
	企画展	「南総里見八犬伝の世界展」	9月13日～11月24日	企画展	423人	
	チャレンジ文学館 (わたしはだあれ？)	小中高一般	通年	常設展	1,351人	
	文学の柱クイズ	小中高一般	通年	芸術の森公園	485人	
実習受入	ジュニアインターンシップ・インターシップ	中高生10人、大学生3人	7月（3日間） 8月（1日間）		13人	37人
	博物館実習	学芸員資格取得単位の実習（4人×6日）	7月17日～23日		24人	
その他	アウトリーチ（移動文学館）	小中高　34校	通年		8,109人	9,232人
	ZINEフェスティバル	各種ZINEの展示、交流会	7月20日（日）	研修室	256人	
	博学連携広報活動	校長会・国語部会での普及事業説明など	通年		778人	
	やまなし文学賞関係	運営委員会	5月，1月	研修室	78人	
	教育センター共催研修	閲覧室・展示室見学	7月23日（水）	研修室	11人	

⑸ 刊行物の記録

① 山梨県立文学館館報　（Ａ５判カラー８頁　観音折り）

121号　令和７年９月10日発行
122号　令和８年３月10日発行
【寄　稿】　小説でもなくエッセイでもなく
紅野謙介（日本大学名誉教授・公益財団法人日本近代文学館専務理事）

② 山梨県立文学館年報（令和６年度）　令和６年10月１日発行　Ａ４判85頁

③ 資料と研究　第三十一輯　令和７年３月31日発行　Ａ５判113頁

企画展「ベストセラー誕生！『南総里見八犬伝』の世界」講演録

『南総里見八犬伝』のいろいろな趣向	服部　仁（同朋大学名誉教授）
江戸時代　甲州の本屋と書籍文化	鈴木俊幸（中央大学教授）
思い出の中の詩人―長田弘氏をふり返る	三枝昻之
飯田蛇笏　倉橋弘躬宛書簡　翻刻	
一九三九（昭和十四）年～一九六〇（昭和三十五）年	高室有子
佐佐木茂索日記「Diary」翻刻	保坂雅子
岩月英男日記　抄録（一）―井伏鱒二、太宰治との関連を中心に―	中野和子
田中冬二　深沢正志宛書簡　翻刻	伊藤夏穂
中村星湖旧蔵新聞・雑誌記事切り抜き等　その一	市川直子・小林幸代・長谷部友子・水上百合子

④ 企画展「ベストセラー誕生！『南総里見八犬伝』の世界」図録　寄稿一覧

（令和７年９月13日発行　Ａ４判64頁）

『南総里見八犬伝』の構成と趣向	服部　仁（同朋大学名誉教授）
甲府の書店と江戸文化	鈴木俊幸（中央大学教授）

⑹ 閲覧室の運営

① 閲覧室の設置

山梨県立文学館設置及び管理条例と施行規則に基づき、県民・文学館来館者への資料・情報の提供及び調査・研究に対する助言を主な事業として、閲覧室の運営を行っている。

② 閲覧室の利用

ア 利用時間

平　日　　午前９時～午後７時
土・日・祝日　午前９時～午後６時

イ 利用手続

書庫内の資料を利用する場合は、「閲覧カード発行申込書」に必要事項を記入し、「閲覧カード」の交付を受ける。閲覧を希望する資料名を「文学資料等閲覧承認申請書」に記入し、受付に申し込む。

ウ 利用対象

文学資料などの調査・研究、読書を目的とした利用とする。

③ 閲覧室の業務

ア 所蔵資料の閲覧・画像情報提供

閲覧室では文学作品・文学研究書を中心とした図書、逐次刊行物、県内外文芸誌、新聞などを利用に供している(一部閲覧制限資料あり)。

また、画像情報システムにより、特殊資料の芥川龍之介資料、樋口一葉の「たけくらべ」再掲本原稿（複製)、中村星湖「少年行」原稿、山崎方代草稿など、実物の閲覧が困難な資料を、デジタル画像により閲覧に供している。一部画像は、令和６年10月１日から、当館ホームページ内「デジタルアーカイブ」でインターネット公開を開始した。

イ 文献検索システムによる資料情報の提供

所蔵資料（図書、逐次刊行物、特殊資料、マイクロ資料、視聴資料）の資料情報は、文献検索システムにより、閲覧室内のコンピュータ端末及び当館ホームページからの検索が可能である。

図書は通常の書誌情報に加え、内容細目もデータ化し、作品集に収録されている個々の作品名、作者名からの検索も可能としている。

逐次刊行物については、一部のものは論文名、作品名、執筆者名からの検索も可能である。

ウ 調査・相談業務（レファレンスサービス）

閲覧室に寄せられた調査・相談・照会などの依頼に対しては、文献に基づき、司書、学芸員などが対応している。質問は、電話、文書、FAX、電子メールでも受け付けている。

寄せられた質問を元に、令和３年４月からホームページで「レファレンス事例」を公開している。公開事例は国立国会図書館「レファレンス協同データベース」にも提供している。

エ 複写サービス

著作権法に基づき、一部の禁複写資料を除き、所蔵資料の複写サービスを行っている。(有料)

オ マイクロ資料閲覧室の利用

山梨日日新聞や明治期刊行物集成などのマイクロ資料の利用に供している。

カ ビデオブースの利用

文学館の紹介及び文学資料の情報を多角的に提供するため、閲覧室にビデオブースを併設し、文学関連の映像資料を提供している。

キ 朗読テープ・CDの利用

朗読テープ・CDは文学関係のものを中心に所蔵し、コーナーを設けて利用に供している。

ク 個人研究室・共同研究室の利用

閲覧室内に個人研究室２室、共同研究室２室が併設されており、研究・研修などの利用に供している。(有料)

ケ 資料紹介

所蔵する資料のほとんどが書庫内にあり来館者の目にふれることが少ないため、収蔵している図書・逐次刊行物の紹介を目的として、テーマを決めて閲覧室内で「資料紹介」を行っている。

令和７年度の実施内容は次ページのとおり。

コ 閲覧室トーク

職員が、閲覧室内で、提供しているサービスや、資料の検索方法、閲覧方法等を説明するとともに特色ある所蔵資料を紹介している。

令和７年度は次ページのとおり４回開催した。

閲覧室事業実施状況

◆ 閲覧室資料紹介

	タ　イ　ト　ル	展　示　期　間	備　　考
1	辻邦生を読む	令和７年４月25日(金)～６月22日(日)	特設展「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年」関連
2	装幀を楽しむ	令和７年７月11日(金)～８月24日(日)	特設展「作家の絵ごころ」関連
3	どうぶつとぶんがく	令和７年９月12日(金)～11月24日(月･祝日)	企画展「ベストセラー誕生！ 『南総里見八犬伝』の世界」関連
4	没後50年　檀一雄の世界	令和８年１月２日(金)～３月22日(日)	

◆ その他の資料紹介

	タ　イ　ト　ル	展　示　期　間	備　　考
1	七夕と星	令和７年６月25日(水)～７月９日(水)	季節のミニ展示
2	井伏鱒二･太宰治と戦争	令和７年８月６日(水)～８月15日(金)	
3	昭和100年記念資料紹介 戦後80年　戦争と文学	令和７年８月27日(水)～９月10日(水)	
4	昭和100年記念資料紹介 芥川賞・直木賞でふり返る昭和の文学	令和７年11月27日(木)～12月25日(木)	
5	昭和100年記念資料紹介 雑誌に見る昭和の文学ー ベストセラー作品の出発点	令和８年３月25日(水)～４月22日(水)	

◆ 閲覧室トーク

閲覧室の利用方法やサービス、特色ある所蔵資料などを30分程度で紹介した。

第１回　５月４日（日・祝）　４名
第２回　７月13日（日）　４名
第３回　８月10日（日）　６名
第４回　11月20日（木・県民の日）　９名



閲覧室資料紹介「辻邦生を読む」



閲覧室トーク（８月10日）